

平成24年度
第2回 温海地域審議会
会議録（概要）

期日：平成24年8月9日（木）

場所：鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

平成24年度 第2回温海地域審議会 会議録

- 期 日 平成24年8月9日(木)午後3時～
- 場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室
- 出席委員 奥井厚委員、佐藤重夫委員、本間澄男委員、本間満委員、馬場充委員、柴田実委員、橋本忠志委員、五十嵐孝昭委員、佐々木真人委員、五十嵐幸男委員、本間百子委員、榎本五郎治委員、伊藤貢委員、佐藤眞紀子委員、佐藤容介委員、斎藤徹委員、本間加知子委員 17名
- 欠席委員 渡辺和一委員、佐藤眞委員、五十嵐淳子委員 3名

○市側出席者

〈温海庁舎〉

支所長 伊藤彦市、総務企画課長 本間節子、総務企画課主幹 石塚みさ、市民福祉課長 富樫達男、産業課長 五十嵐勇一、観光商工主幹 粕谷一豊、総務企画課課長補佐兼コミュニティ防災主査 三浦市樹
総務地域振興主査 五十嵐浩一、総務地域振興主査 鶴見美由紀
総務地域振興専門員 本間由縁

〈本 所〉

企画部次長兼地域振興課長 三浦総一郎、地域振興課地域振興専門員 三浦裕美
企画部地域振興課主任 前田哲佳、総務部温海税務事務室長 丸山和男
建設部温海建設事務室長 庄司又兵衛、教育委員会 教育部長 山口朗
教育委員会管理課主幹兼学区再編対策室長 鈴木金右エ門
教育委員会管理課学区再編対策室主査 本間明

○次 第

【辞令交付】

1. 開 会
2. あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長、副会長の選出
5. 報 告
(1) 学校適正配置について
6. 協 議
(1) 地域審議会協議テーマについて
(2) その他
7. その他
8. 閉 会

[辞令交付]

1. 開会（午後3時）（総務企画課長）

2. あいさつ

○伊藤支所長 皆さんこんにちは。日ごろより皆様方からは市政万般にわたりご支援、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。ただいま辞令を交付させていただきましたけれども、任期は本年7月1日から26年6月30日までの2年間でございますのでよろしく願いいたします。

前回の温海地域審議会では本地域活性化のため、3つのテーマについて委員の皆様から多くの意見をいただきました。そして既に予算化されたもの、今後さらに調査検討を進めていくものなどございますけれども、私たちが事業を組み立てていく際の参考にしていきたいと思います。今回も皆様からは安全安心な地域の確立と活性化のためのご提言ということで、多くのテーマを提案していただきました。誠にありがとうございました。この後今回のテーマについては皆様からご協議いただきまして、安全で安心な地域づくり、さらには温海地域活性化のためどうあるべきかご提言いただきたいと思っています。今回も前回同様に委員の皆様方が発言しやすい環境を作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。また、本日は、後ほど職員の紹介がありますけれども、教育委員会のほうから山口教育部長、鈴木学区再編対策室長、本間主査よりこの後学校適正配置についても報告もありますのでよろしくお願いいたします。なお、本日は前回の委員の提案により会議終了後により深く意見交換ができますよう懇談の場を設けておりますので、この会議で言いにくかったこと、また、言いそびれたことがございましたらこの後の懇談の場で深い意見交換をいたしたいと存じますので、会議の進行については皆様方よろしくご配慮願います。結びに時節がら体調管理に十分気をつけいただきましてこの夏を乗り切っていただきたいと思います。本日は誠に御疲れ様です。

3. 委員紹介

- 地域審議会委員紹介 —
総務企画課長
- 市側出席者紹介 —
自己紹介

4. 会長・副会長の選出

○総務企画課長 続きまして、審議会会長、副会長の選出に入りたいと思います。「地域審議会の設置に関する協議書」第6条の規定により、委員の互選によって会長及び副会長1名を置くことになっております。これに基づきまして、委員の皆様から会長、副会長を選任いただきたいと思っております。いかがいたしましょうか。

○斎藤徹委員 事務局に一任します。

○**総務企画課長** 一任の声がありますので、会長を温海地域自治会長会会長 奥井厚委員に、副会長を温海町森林組合代表理事組合長 佐藤重夫委員にお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

(異議なしの声)

○**総務企画課長** ありがとうございます。それでは奥井厚委員、佐藤重夫委員よろしく申し上げます。会長、副会長席にお移りください。

これより会議の進行につきましては、「地域審議会の設置に関する協議書」第7条の規定によりまして、会議の議長は会長が行うことになっていきますので、奥井会長より議長をお願いしたいと存じます。奥井会長よろしく申し上げます。

○**奥井厚会長** 皆さんこんにちは。ただいま承認いただきました奥井でございます。このような審議会の会長という大役を務めなければならないということで、私も身の締まる思いでございます。先程支所長も申し上げておりましたが、温海地域は課題の多い地域でありまして、これを何とか皆さんの活発なご意見によりまして一歩でも二歩でも前に進めていけるような審議会であればいいと思います。皆さんもご存知のとおり高齢化率が鶴岡市内では一番高いという報告も受けておりますし、企業も少ないということで、地域の活性化にどう結び付けていけるかということも課題となっております。それと併せて温海地域は海あり、山あり、川ありということで、雨が降っても雪が降っても自然災害が途切れない地域であり、他の市町村から見れば、災害が一番多い地域でないかと感じています。その中で職員の皆さんは日夜住民のために安全安心を頭に置きながら努力しておりますことに対し敬意を表したいと思っておりますし、後でも話しますけれども子どもが少なくて学校の適正配置も話題になっている状況にあります。学校がなくなれば地域も寂れていくという問題もありますけれども、やっぱり子どもがどうあればよいかを考えていかなければならないと考えております。今日選任されましたけれども2年間皆様のご協力をいただきまして大過なく終了できますようお願いしてあいさつに代えます。

それでは次第に従いまして5の報告ということで進めさせていただきます。学校適正配置について、教育委員会のほうからご説明をお願いします。

5. 報告（学校適正配置について）

○**山口教育部長** 本日は温海地域審議会の開催に際しまして本市の学校適正配置に関する説明の機会を頂戴いたしましたことに感謝申し上げます。学校適正配置に関しましてはお配りしてあります資料に記載のとおり、昨年5月に基本計画を策定いたしまして、市としての目指す方向と望ましい学校規模を定め、その実現を図ることとしたものでございます。教育委員会といたしましてはこの計画に基づきまして、昨年6月から市内全11中学校区で地域説明会、また本計画の対象となります複式学級のある14の小学区単位での個別の説明会を開催して

おります。また、対象となります8つの中学校区で地域検討委員会を立ち上げ、さらには検討対象の小中学校区ごとに懇談会も設置していただきまして、地元意見の集約に取り組んでおるところでございます。なお、温海中学校区では第2回地域検討委員会を先月5日に開催していただいたところでございますが、これまでの各地区での検討委員会では、複式学級でなぜいけないのか、時期尚早ではないか、学校がなくなると地域が廃れるのではないかと、というような意見を頂戴しております。しかしながら教育委員会といたしましては子どもたちのより良い教育環境の整備を最大の目的といたしまして、現実的な様々な課題に答えるために、さらに多くの市民の皆様方のご意見をお聞きしながら、本市の学校適正配置を進めてまいりたいと考えております。市民の皆様にはこれまで市の広報、あるいは学区再編だよりなどを通して教育委員会の考え方をご説明してまいりましたが、先日新聞報道でもございましたように地域によってはかなり検討が進んでいるところもございますので、本日現在の状況等をご報告できる機会を頂戴いたしましたことに改めて感謝申し上げます。これから担当の学区再編対策室のほうからこれまでの取組みとこれからの進め方等につきまして説明を詳しく申し上げますので、温海地域審議会の各委員におかれましては当計画の推進につきまして格段のご理解を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

－ 資料説明：学校適正配置について（地域審議会資料） －

説明者：学区再編対策室本間主査

○**奥井厚会長** ただいま学校適正配置について説明がありました。初めての方が多いと思いますが、委員の皆様からご質問、ご意見ありましたら発言をお願いしたいと思います。

○**五十嵐幸男委員** 計画についての説明を受けました。これはやむを得ないことかと考えておりますが、受け入れる側の学校のほうの整備計画、これらはどんな魅力的な学校づくりが計画されているか、これによって地域の方々がそういう学校であれば、ということになるのではないかと考えられるのですが、そうした受け入れ側の学校の整備計画というのはいつごろまでに出来あがるのか、ということをお聞きしたいと思います。

○**鈴木対策室長** 基本的に今回統合の相手となる学校はまだ決まっていない状況です。今次の計画につきましては、対象となっている14の小中学校区において統合について十分議論いただき、統合する、しないの地域の意思を決めていただくということで、統合するとしたらどここの学校とするかということは今、懇談会のほうで盛んにご検討いただいております。併せて温海地域全体の小学校のあり方ということについては地域検討委員会の中で、これだけ子どもが少なくなってきた中で地域1校が望ましいのではないかと、という議論もいただいております。将来的な課題としては当然そのような方向性も考えられるわけですが、今回の5ヵ年の計画の中ではこれまで複式学級として2学年を1人の先生で教えていた子どもたちの教育環境をまず改善すべきではないかということから、まずは5ヵ年の中でそれを整備していただきたいというこ

とで進めさせていただきました。今委員からあったように当然新たに統合校となる学校として、ハード面でどうするかということも当然ございましょうし、ソフト面、今それぞれの対象となっている地域の伝統的な活動、行事等をどう新しい学校に引き継ぐかということについても統合準備委員会のほうで十分揉んでいただきながら、それをスムーズな形で、新しい学校で速やかな融和と連携を図りながら進めさせていただきたいということでございますので、具体的な整備計画というのはこれからということになりますのでご理解いただきたいと思います。

○五十嵐幸男委員 分かりました。よろしく計画をお願いします。

6. 協議

(1) 地域審議会協議テーマの設定について

○奥井厚会長 その他質問等ありましたらお願いします。ないようでありますので報告はこれで終わらせていただきたいと思います。教育委員会の皆さんはこれで退席となります。ありがとうございました。

それでは6の協議に移ります。(1)の地域審議会協議テーマについて事務局より説明をお願いします。

ー 資料説明：地域審議会協議テーマについて

説明者：五十嵐総務企画課地域振興主査

○奥井厚会長 ただいま事務局から説明がありました。初めにテーマの設定について先に委員の皆さんから提案をいただいておりますが、提案者から提案理由の説明があればお願いしたいと思います。ご発言をお願いします。

○佐々木真人委員 バラバラに説明していただくのではなく、資料に沿って順次説明していただいているのでしょうか。

○奥井厚会長 それでは今佐々木委員のほうから皆さんから提案のあった5つの内容について二重丸ついていますけれども、上のほうから絞り込んで意見を出してもらったらどうかということでございますので、よろしいでしょうか。それでは一番目の日浴道、日東道に関するものについて提案がありますけれども、皆さんからご意見ををお願いします。

○斎藤徹委員 提案者の考え方ということでありますので、細かい部分は分科会で詰めるものと思いますが、考え方をご説明申し上げます。現在温海・鶴岡間の開通に伴い交流人口はかなり増えてきていると思われるところではございますが、今後十数年後にならうかと思いますが、全線開通した後に通過点にならないための温海地域の観光がどうあれば良いのかを、今後この場で煮詰めていくのも重要な点ではないかと思われます。また、いままではこの地域、あつみ

温泉、鼠ヶ関、浜温海と各地域では相当のイベントを開催しながら地域の売込みが盛んに行われているのは確かでございますが、今後は全線開通を見据えた形で、あつみ温泉、鼠ヶ関、浜温海だと言わないで、この地域をどう売っていくのか、全体で考えていくのが必要ではないかと私自身考えておりますし、また27年までの合併特例債の活用を見据えた形で、この会議の中で煮詰めたかどうかと考えているところです。また、もう一つは私の友人からご意見をいただいたのですが、例えば温泉、しな織、赤カブ、魚介類、最近はいかの一夜干なども相当売っているわけですし、そこに統一したロゴマークができないか、それで売り出して行ったらどうかという話も私も意見として聞いておりますし、この温海全体の中を網羅した形でこの地域を売り出していく考え方が必要ではないかと思いいこの提案をしました。

○佐々木真人委員 前回のこの会議で支所長からも県境区間の開通までが勝負ではないかというお話があったように、私もそのように感じております。前回鶴岡・温海間の時には念頭になかったのですけれどもサービスエリア、これを是非、今回は話題にもならなかったのですが、是非県境のところに温海地域内にサービスエリアを作ること地場産品の販売等いろいろな活用ができるのではないかと思います。是非サービスエリア設置の運動を展開していきたい。鶴岡・温海間では温海地域内にはほとんど広いところがなかったのが話題にならなかったのですが、鼠ヶ関であればそういう広さも取れるのではないかとということで、是非この活動に取り組んでいきたい、どのようにしていくかをこの場で協議できればと思います。以上です。

○佐藤重夫委員 日沿道の開通により恵まれた、良い面も出されておりますが、通過する集落、345号沿いの周辺等で開通による様々な課題が出てきているかと思えます。流れも良くなり時間も早くなったわけですが、個々の集落の皆さんでいろいろな課題を抱えていても解決の方向が見えないのではないかとということで、この場でも結構ですし、お互いに連携できるような体制作りがあれば、せつかくできた高速道、またこれからも延長しようとする中で、地域の大きな問題、課題を解決する方法が出てくるのではないかとということで、そういった体制ができればという提案です。

○奥井厚会長 ただいま3人の方から提案理由のご説明をいただきました。その他の皆さんからこの件についてありましたらお願いします。後ほどまとめていきたいと思えます。進めさせていただきます。

防災に関することも提案されておりますので提案理由の説明をお願いします。

○斎藤徹委員 空き家問題についてですが、会長も言われておりましたが、この地域人口減少と高齢化率は合併市町村の中でも一番高くなっています。そういう中でとりわけ私が住んでいる湯温海地域でも空き家が50軒以上とだんだん増えてきているのが現状でありますし、廃墟になりつつある家も出てきております。その中で移住交流とかそういったものも考えながら例えば地域独自のインターネットでの情報、空き家情報等を流していく必要があるのではない

か、これは単一自治会では難しいのではないかと感じているところです。税金問題や撤去問題も出てくるかと思いますが、昨今の新聞上でも出ていたようですが、この辺も含めてこの地域独自の考え方も必要ではないかと考えています。

○**奥井厚会長** 防災関係については私も提案しております。3. 1 1以降の津波防災から、いかに防災が重要であるかということを考えていかなければなりません。温海地域では海岸に接しておりますし、人口の半分以上も海岸近くに定住しているということで、津波をはじめとした防災対策は喫緊の課題であろうと思っています。その中で特に防災無線、何十年もなって故障も多くなっておりますし、各家庭にある受信機も老朽化しており、部品がなくて直せないという今の状況からすると、これらは喫緊の課題であろうと思っています。どのような方法で対応できるのかということは住民の不安も出てきておまして、無線が壊れても直してもらえないという状況からすると、防災対策は喫緊の課題ではないかなと考えまして提案しました。検討いただければと思います。

○**佐々木真人委員** 会長の防災無線についての考えについては同感です。有線放送設備については温海温泉でも今年60万円かけて、市から20万円の補助をいただいてアンプの一部改修を行いました。鼠ヶ関では全体改修で2,000万円かかると聞いております。温海温泉も支線の線を変えるだけで750万円、施設整備で公民館などの大規模改修に匹敵するだけの費用がかかります。経過年数が20年以上となっていますので、防災無線と有線放送を有効に、特に有線放送は自治会内では有効に使っているところですが、各家庭には有線放送と防災無線と2つの受信機があります。私の妻の実家には防災無線も有線放送もない状態で市民生活を営んでいます。あるということは非常にありがたいことで、これから先有線放送が必要なのか、防災無線との関わりを考えながら検討していかないと、温海温泉の有線放送の改修には2,000万円以上かかるとおられます。有線放送はアナログですので風が吹くたびに2～3軒が聞こえないということで修理代が発生します。ここ何年間も繰り返しています。昨年、今年と有線放送が使えない時期があったものですからアンプを交換したところですが、線が相当悪くなっており、改修となると自治会の年間予算額と同じくらいの金額がかかるということで、今の公民館施設整備補助では対応できない時期が近々くるのではないかとおられますので提案したところです。

空き家問題についてもこの会で何度も質問したことがあります。市の方から鶴岡市空き家所有者等アンケート調査が出ておりますが、条例がないと住民のところでは何もできないということもあるものですから、早急に議会になるのか、検討していただいて、流山市や足立区、長崎市では相当進んだ条例を設置しながら対策をしているようですので、それに向かって早急に取り組んでいただかないと困った状況も出ておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○**奥井厚会長** その他関連した意見があればお願いします。ないようですので防災関連について

はこれで終わり、次に進ませていただきます。地域資源の活用に関するものが3件ありますのでお願いします。

○佐藤重夫委員 地域審議会のテーマではなくて市の総合計画審議会の話題かと思いましたが、あえて提案してみました。

今、脱原発、卒原発ということで騒がれており、再生可能エネルギーの活用ということが全国的に話題になっているところでございます。私も仕事柄、是非豊富な森林資源の活用、木質バイオマスの活用、それをエネルギーとした対応策としてどうだろうかということで内部では検討しております。進め方として地域の中での話し合いの機会も必要かと思えます。いいことばかりではなく、いろいろな課題も出てくると思えます。併せて、売電の場合は別としても熱源等を活用した地域の振興策、農業、栽培漁業、福祉などいろいろな関係で出てくる問題もあるかということで併せてこのような話題も一つの振興策として、最終的には大きな雇用も含めまして提案しました。

次に恵まれた自然環境を自信を持って外にPRを、ということで先程も会長のほうからありましたように、温海地域は山や海ということで厳しい条件の中で災害も頻繁に発生しているということで、安全、安心な暮らしをするには厳しい環境であるという反面、恵まれた自然環境がありますので、是非こういった自然を活かしながら観光資源、特産品の開発も含めて出していければと思いますので、こういう会議で話し合いをしながら進めていただければという提案です。

○本間澄男委員 農地保全組合の活用ということで提案させていただきました。今回、庁舎産業課と農協のほうで農地保全組合を作り、海岸線のウドと中山間のかぼちゃということで作物を選定して進めているわけですが、いかんせん猿とかハクビシンなどの獣の被害ということについて真剣に考えないと、どのような作物を作っても獣に食害されるということが心配されていますので、この対策についてもよろしくお願ひしたいと思います。遊休農地の解消ということで取り組んだものです。生産組合長会のほうでわらびの生産の研修も行うそうです。わらびは獣の被害は考えられないと思いますが、いろいろな面で皆さんからお知恵を拝借して遊休農地の活用、農業の振興を図りたいと思います。

○奥井厚会長 この件で皆さんから意見があればお願いします。ないようですので3番目の関係については終わらせていただきます。4番目の生活環境に関するもので2つ提案されています。

1番目の海岸の漂着ごみ対策についてですが、温海地域は国道7号沿いに10集落があり、延長が約12～13kmあります。ここに海が荒れるたびに漂着ごみがたまっている状況で、海岸のクリーン作戦は毎年やっているわけですが、一集落だけでは追いつかない状況になっています。特に大きいのがポリ、発泡スチロール、最近では海岸にススキがたまっている状況が何箇所も見られます。ススキは川から海に流れてくるもので自然の摂理であるわけですが、手に負えないだけのごみが海岸に漂着しているところですので、温海町は観光立町であったわけで

すが、ごみがあることによってイメージがダウンするということがございますので、海岸の漂着ごみを何とかするいい方法を関係機関、地域も合わせてもっと積極的にやっつけていかないと大変なことになるのではないかと思いますのでよろしくお願いします。

○佐藤眞紀子委員 婚活事業について提案しました。今年度8月に鶴岡市温海庁舎のほうで講演会があるということを伺いましたが、その前に独身の方々がどういうことで結婚に踏み切れないのか、実際に聞いてみたほうが良いのではないかと思いますので、そういう機会を作ることも大事ではないかと思われましたので提案しました。

○奥井厚会長 これは永遠の課題ではないかと思えます。提案されるのが当然だと思いますので、これから協議していきたいと思えます。

4番目についてはこれで終わりたいと思えます。5番目の人づくり、まちづくりについて提案理由をお願いします。

2つ目の集落の活性化ということで提案しました。これは集落がある程度元気を出していかないと地域も盛り上がっていかないとということで、この中には各集落にある老人クラブ、婦人会、青年層の団体の活性化をもっと進めていかないと集落の活性化にはつながらないし、まちづくり、人づくりにも関係することではないかと思っています。当集落では今まで老人クラブが一番構成人数の多い団体であったわけですが、最近老人クラブの総会などに行くと会に入る人が少なくなった、ということで老人クラブも高齢化しているということで活動がうまくいかないということで、婦人会から言わせると、老人クラブという名前が悪いのではないかといわれていました。確かに65歳から任意で入ってくださということで役員がお願いするわけですが、やはり名前のイメージが悪いのではないかといわれていますが、何か良い名前を考えながら組織の活性化につながればと考えています。婦人会についても結婚しない方もおりますし、家に定着しないということで、構成人員は年々減っているということで、若妻会と婦人会が一緒になってもなかなかこの組織も心配だという感じを持っています。これらをもっと底上げしながら活動していかないと集落の活性化につながらないのではないかと考えていますので、婚活と合わせた、何か良い組織作り、温海独自のものを提案しながらモデル事業でもしながら進めていかないと大変だと思提案しましたのでよろしくお願いします。

地域グループのネットワーク化についてお願いします。

○佐藤眞紀子委員 蓬莱塾の活動を行っており、様々なことをやっていますが、やはり自分たちの地域だけではなくて、温海地域全体としてまとまっていかないと温海地域の活動にはならないのではないかと思います。温泉にもグループもあります、鼠ヶ関にもグループがあります。それを一本化することによって皆さんから様々な意見をいただくことでこれからの観光面でも良い面が出てくるのではないかと思います。これをさらに鶴岡市ということで、全域的に取組みができれば、様々な史跡めぐりとか、温海だけでなく全体として取り組めるよう、点から線へ繋ぐということで前回の提言書にもあるので、これを実行できればさらに良くなると思

われますので提言しました。

○**奥井厚会長** 3つ目の婦人会の関係についてお願いします。

○**本間百子委員** 婦人会としては、いろんな会合に出席する場合に鶴岡市内とか県内の研修などがありますが、交通費がかかります。婦人会としては文化祭での物資販売などを行なって活動していますが、鶴岡市の助成としては温海のほうが少ないのでもう少し上げてもらえればということで提案しました。

○**奥井厚会長** 健康づくりで何かありましたら。

○**五十嵐総務地域振興主査** この件については、団体から委員の推薦をいただく際に体育協会からいただいた提案です。

○**奥井厚会長** この件について斎藤徹委員何かありませんか。

○**斎藤徹委員** 私もスポーツクラブネクサスの理事長を仰せつかっているものとして、この場に提案すべきかどうか迷ったのですが、スポーツクラブネクサスも100名余の会員の中で健康づくりを行っているところですが、先程から話題にもなっていますが超高齢化社会ということで、どんどん65歳以上の年代の方々が増えてくる中で、やはりスポーツを通しての健康づくりは最重要課題となっている時代ですし、是非この地域の皆様からはスポーツクラブネクサスだけではなく、スポーツと健康の結びつき、お金を出してもスポーツをして健康を維持するという意識の改革をお願いしたいと思いますし、今後この地域の事務局体制についてもかなり変わる体制にもなっていますし、この項目についてもこの場で取り上げていただければ幸いです。

○**榎本五郎治委員** 集落の活性化について、小岩川の今までの例を2～3件ご紹介したいと思います。浜温海の祭典でも人が少なくてシルバー人材センターから応援を頼んでいると聞いておりますが、小岩川では山形大学農学部の教授との接点がありまして、教授をはじめ学生さんが小岩川古来の衣装でお祭りに参加しています。女性の方も参加しており、活性化につながっております。また、小岩川でのイベント、教養部で主催しておりますが、そこにも山形大学の教授と学生が一緒になって取り組んで、芸を披露したりしています。また共同作業などにも参加していただいております。女子大生が参加すると華やかにもなります。小岩川では古来から庚申様の行事が行われています。各集落の入口に庚申塔の石碑があるわけですが、昔医学が発達していない時代に疫病がはやり、それを治めるために庚申様の行事を行っていましたが、小岩川ではいまだに続けられています。そこにも山形大学の教授と学生が一緒になって参加しており、親交を深めています。このような例がありますので参考にしていた

できればと思います。

○**橋本忠志委員** 地域審議会のテーマとしては福祉分野ということになると絞り込めなかったもので提案しなかったのですが、福祉関係についても皆さんのご指導をいただければと思います。社会の変化で福祉関係も大変な時代でありまして、高齢者に対する支援すべきことが大変多くなっています。高齢者も年齢に関係なく自立している方もおりますし、家族の意識も変化しておりまして、地域のあり方、関わり方、あるいは年金の格差など、また介護施設の多様化ということで、私ども福祉に関係する者も複雑な心境でございます。また、最近介護施設の多様化、新しくこの地域でも少規模多機能型の施設もできるということで、これまで福祉サービスは利用者のサービスに重点を置いてきましたけれども、これからは地域、家族、施設の方々への支援ということを重点に、サービスを提供する仕組みの充実が大切かと思っています。住み慣れたこの地域は安心して幸せを感じられる地域でございますし、支えてくれる人がいるということが高齢者の一番望んでいることでないかと思っています。前に旧温海町の時代に県境に福祉の町温海ということでスローガンが掲げられていましたが、温海地域も少子化問題、空き家問題等も踏まえて、温海ならではの福祉の向上、福祉の質を高めたいと思っています。また、リタイヤされる方、あるいは高齢者の方々が高度な福祉施設のある温海地域に住みたいと思う地域にしたいと思いますので、行政の方々もふれあいでできる施設の充実をお願いしたいと思いますので、テーマとしてふさわしいかどうか分かりませんが、福祉の町を再現したいと思いますのでご指導をお願いできればということで要望方々よろしく申し上げます。

○**奥井厚会長** その他ありませんか。出された意見の他日ごろ感じていることがありましたらお願いします。大分意見も言い尽くされたかと思いますが、出された意見を絞り込んでテーマを設定していきたいと思いますのでご意見をお願いします。

今日出された意見を事務局から整理していただいて、次回で決定することによろしいですか。今日この場で絞り込むのは大変だと思いますが。何かありませんか。事務局いかがですか。

○**伊藤支所長** 皆さんからたくさん提案をいただきました。本来であればこの場で決定していただきたかったわけですが、皆さんのご意見を聞きますとどれも重要と思われれます。ただ、ものによっては意見交換の仕方によってかなり深まっていくものもあれば、比較的簡単に終わってしまうものもあると思いますし、例えばまちづくり、人づくりに関すること、地域グループのネットワーク化については前回もテーマとして設定されており、さらに熟度を高める、調査・検討を深めるということでも良いと思います。提案されたものをすべてテーマとして分散会の中で時間配分をして全てをテーマとする方法もありますが、皆さんの中で優先度があるのかどうか、是非これだけはどうしてもテーマとして取り上げていただきたいというものがありましたらお聞かせいただかないと事務局としても大変だと思いますので、是非これだけはテーマとして取り上げてほしいというものがありましたらご意見をお願いします。

○**奥井厚会長** 支所長のほうから短期的にお願いするもの、中長期的に進めていかなければならない点あるかと思いますが、早急に必要だというものがありませんでしたら皆さんからご意見をいただきたいと思います。

○**五十嵐幸男委員** 初めての委員ということで皆さんのご意見を聞かせていただきましたが、皆さんの話を聞いて、夢のある話というのは温海地域としては山、森林が大部分の地域ですから、バイオ関係、木材を利用したバイオマス事業、これを真剣に考えて行ったら面白いのではないかと思います。あるとき新聞を読んでいて、森林組合の製材所で出た木片を燃料に発電まで行っているという話が出ておりますし、石油に頼らない生活というのも木材利用に大きな光が見出されていると思いますし、こうしたことをもっと大きく取り上げたらと思いました。

空き家対策ですけれども、空き家が増えているということは、一つは若い人の働く場がないということが大きな問題だと思うのです。例えば温海温泉に以前は年間30万人くらいのお客さんが入っていたのが、今10万人そこそこということになるとそれだけでも働く人数が少ないということで、やむを得ないことだと思うのですが、温海温泉に住んでいて温海温泉が住みにくい街かというところではないのです。温海温泉は高齢者にとって非常に住みやすい街なのです。なぜかという、温泉にはいつでも入れる、医者についても3軒ある、歯医者もある、買物もそんなに不便ではない。それに山あり、海あり、川ありということでそれぞれの趣味も楽しめる場所があります。そこでもう少し大きく取り上げて、第一線から外れた方々が温海に住んでみたいというような啓発PRをもっと行ってはどうかということを感じた次第です。ある話で、鶴岡でマンションを買った、銀座のど真ん中で買物も便利で市役所も近い、商店街も近いということでマンションを買いました。ところが、来てみれば銀座通りはシャッター街、買物はスーパーマーケットが郊外にあるけれども身近には買物もできない。移動も高齢者だと遠くに行くには不便だということで、PR内容と実際の生活実態はかなり違うということを知ることがありますが、温海温泉はそんな実態はないと思うのです。もっと魅力的なところをクローズアップして啓発したら空き家対策にも利用できるだろうし、高齢者がもっと集まって温海でゆっくりと老後を楽しめる街になってくるのではないかと思います。そういう面でもう少し高齢化社会の中で温海温泉は高齢者が住める非常にいい場所だ、というまちづくりが大切なことではないかと思った次第です。

○**佐藤重夫委員** これだけの話が出されましたので、事務局で3つくらいに絞っていただければよいのではないかと思います。

○**伊藤支所長** 資料の中で二重丸がついているものが5つありますが、今まで話されたもの、例えば集落の活性化とか団体の活動支援とか含めて設定することも可能だと思いますし。二重丸を単位に考えてみて、事務局と会長、副会長を交えましてテーマを決定したいと思いますがいかがでしょうか。

次回からの進め方としては、この会を2つに分散して、職員も記録者のみの配置として、皆

さんから話し合いをしていただき、まとめていただきたいと思います。

(2) その他

○**奥井厚会長** テーマについては皆さんから活発なご提言をいただきましたので、これをまとめていくということでいかがでしょうか。

それではテーマの設定については以上で終わらせていただきます。

その他についてありましたらお願いします。

○**榎本五郎治委員** 再生可能なエネルギーの導入ということは国策的に大きな課題になっておりますが、この温海地区に風力発電を導入をして観光開発と結びつけるという検討はいかがなものでしょうか。

○**奥井厚会長** この件についてもこれまでの内容と一緒に協議するように進めていきたいと思えます。

その他なにかありましたらお願いします。本間満委員どうぞ。

○**本間満委員** 先程の防災対策と関連しますが、有線放送、防災無線について、年数が経過して古くなっているという問題もあるようですが、現在のテレビの共聴アンテナを利用した防災無線の運用もあるのではないかと。他の地域で実施しているという話を聞いたことがあります。次回にでも資料提供いただければありがたいと思えます。

津波対策についてですが、新潟県では建設会社が自主的に測量を行って避難場所のマップを作ったそうです。小岩川でもどこに逃げれば間に合うのか、ということもまだ分かっていないようですのでよろしくをお願いします。

○**総務企画課長** その件については現在ハザードマップの作成ということで進めておりますのでよろしくをお願いします。

7. その他

○**奥井厚会長** その他ありませんか。それでは7のその他に入ります。事務局からありませんか。

○**総務企画課長** 事務局からはありません。

○**奥井厚会長** その他ありませんか。柴田実委員どうぞ。

○**柴田実委員** この審議会の通知方法ですが、現在個人に発送されているのか、会の代表の場合は会のほうに届いていますか。教えていただきたいのですが。

○五十嵐総務地域振興主査 委員のお願いについては各団体のほうから推薦をいただくような格好になっておりますが、委員については各個人への委嘱ということで、あくまでも個人とのやり取りということにさせていただいておりますが、先日観光協会、商工会の事務局のほうから要望があり、事務局を通してやり取りをお願いしたいという要望がありましたので、今後団体の事務局と詰めていきたいと思っております。

○柴田実委員 分かりました。そのようにお願いしたいと思っております。

○奥井厚会長 火災があったようでござっておりますが、その他何かありませんか。

○橋本忠志委員 私もあつみ福祉会の代表で出ておりますが、この審議会の関係は会のほうに案内を出していただければ、連携が取れてよいと思っておりますので、あつみ福祉会のほうに案内をしていただきたいと思っておりますがいかがですか。

○五十嵐総務地域振興主査 そのほうが通りが良いということであれば、先程と同じようにあつみ福祉会と打合せを行って対応したいと思っております。

基本的には個人に委員をお願いしているということが前提ですので、その点についてはご理解をいただきたいと思っております。

○奥井厚会長 その他ありませんか。ないようですので以上を持ちまして本日の議事を終了いたします。長時間にわたり、慎重審議ありがとうございました。最後になりましたが、企画部次長がおいでとなっておりますので発言をいただいて終了としたいと思います。

○三浦企画部次長 委員の皆さんが変わって初回ということで全地域回らせていただいております、今日が6番目で最後となります。いろいろ協議テーマを見させていただきましたけれども、このまま本所に持ち帰ってもいいような壮大なテーマが並んでおりまして、事務局に整理が預けられたようですが絞り込むのが大変かと思っております。個人的に高速道路は大分目途が立ち10年後には完成するという状況になっております。これはどちらかという温海地域の問題だと思います。これは温海地域の各界において10年後を見据えて考えていただかなければならないテーマだと思います。この審議会で取り上げるかどうかは別にしても、皆様にはこの問題については真剣に考えておいていただきたいと思っておりますし、10年はあつという間に来ます。3～4年後には現実的に動きが出てくると思っておりますので、この点はお願いしたいと思っております。村上市などと手を組んで運動していますが、村上までで止まっていますので瀬波温泉あたりでは今のままで良いという方もいるようです。あつみ温泉の方も中には今のままのほうが良いという方もしいるとすれば、それは違うと思っております。双方向に開くことによって今以上の需要が出てくるのは明白ですので、今から準備をお願いしたいと思っております。

地域審議会は2年間の任期となっておりますが、実際の会議の回数は多くありません。欲張

ったテーマの設定をしましてもそんなに議論できない可能性がありますので、絞り込んだ形で
実のある提言をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

8. 閉会（午後4時50分）（総務企画課長）